



NEWSLETTER

第25号 1999年7月1日発行

歯科保健医療国際協力協議会

事務局：390-0804 長野県松本市横田3-10-14 TEL&FAX：0263-39-1583

発行：村居正雄 編集：田中健一 現会員数：245名

Japan Association of International Cooperation for Oral Health

JAICOHの第十回総会を終えて

会長 村居正雄

今年の総会は、JAICOHにとっ
て記念すべき第十回の総会です。「遙
くも来つるものかな」という感慨
に浸っております。

創立時は、歯科保健国際協力の基
礎作り、情報の収集と蓄積、提供な
どが主たる目的でした。とにかく国
際協力活動をやりたくても、どの扉
をどう叩けば道は開かれるのか、皆
目見当がつかないという手探りの状
態でした。十年を経た今日、厚生省
やJAICAで専門家として活躍する
方々が誕生し、またNGOとして歯
科医療協力を積極的に行っている団
体もいくつか育ってきました。口腔
衛生学や、社会歯科学の教科書にも
国際協力についての数ページが加え
られるようになりました。

このような中で、JAICOHの果
たすべき役割も大きく変化してきま
した。国際協力への思いを持った人
たちの集まりであるJAICOHは、
いわば「一人NGO」の集合体でも
あります。そうした意味からも、主
体性を会員自身もつ活動に切り替
えてきました。その一つの試みが
「シーズプロジェクト (Seeds

Project)種蒔きプロジェクト」で、今
回は三つの活動に助成がされました。
国際協力のベースはボランティア
ア・マインドであり、ボランティア
の語源を辿るならば、それは自らの
意志で行動する人であります。「出る
釘は打たれる」風土の日本で、JA
ICOHの存在は、自らの意志で行動
する人材を育てることにあると、最
近は強く思っています。

国際協力に参加することは、家族、
同僚、患者さんなどの理解と協力が
前提で、その理解を得る過程で自分
自身と向き合うことになります。

現実からの逃避ではないか、慈善
行為(施し)や自己満足ではないか、
国際協力を通じて一体自分の何を鍛
えようとしているのか、などなど。
この自分自身と向き合う姿勢が大切
です。

今年の総会で、歯学部学生や、歯
科衛生士諸君の国際協力に対する強
いエネルギーを感じて、これからの
日本の歯科保健医療が彼らによつて
支えられるならば、満更捨てたもの
でもないなと思えました。本年度も
よろしくお願いいたします。

JAICOH NEWS LETTERは下記の各社のご協力を得て作成されております

※上国での歯科保健を行う際の好指針!

**医療に恵まれないところでの
歯科保健の手引き** 好評

—歯科保健の国際協力活動マニュアル—
Where There Is No Dentist

マレイ・デクソン 君
定年保健医療国際協力協議会 氏

●85頁/216p ●定価：(本体3,000円+税) ●送料310円

財団法人 口腔保健協会

〒170-0003 墨田区西向 4-4 東275ビル TEL: 03-3947-8301 FAX: 03-3947-8373

使いたくなる
ホームケア歯ブラシ

「毎日、毎日……」
「繰り返し、
繰り返し」

〈ホームケア〉歯ブラシ 0120-118418
株式会社 永山 0120-648581

はじめての
コンポジット直接充填!
はじめての1液性セルフ
エッチングプライマー!

ユニファルF ■長期的なフッ素の除去。
■ビタシェード9色+A03. CV.

ユニファルボンド
■混和不要、簡便2ステップ。
■接着性モノマー「4-MET」による優れた接着性。

株式会社 ジーシー
DICフリーダイヤル 0120-416480

Seeds Project

プロジェクト

とは

深井 穂博

JAI COH理事

JAI COHは、わが国の歯科保健医療分野での国際協力に関する情報交換および活動の相互育成を図ることを目的に、一九九〇年に若干の有志によってNGOの組織として設立されました。以来一〇年あまりを経た現在、会員数は約二五〇名にのぼり、事業内容は国際協力に関する研修会、広報活動をはじめとして、カンボジア、ソロモン、ミャンマーなど実際に国外でも活動しています。しかし、その一方でこれまでの国外でのプロジェクトを、会の現状にあわせた規模に縮小しようとする意見や、会員一人一人が国際協力に主体的に参加できるような環境をつくり、歯科保健医療に関する国際協力活動の裾野をさらに広げたいとする意見もあり議論が行なわれました。

そこで、一九九八年度から従来の活動に加えて、会員が主体となって各地で行なう事業に対して助成を行

なうシー（Seeds Project）制度を発足させました。

十一月締切で応募を行ったところ、四件の応募があり、役員会で選考を行いました。その際に選考の基準は、

一、事業が独創的であること
二、会員への啓発や各個の活動の参考になり、会員に還元できる内容であること

三、実施期間内にある程度成果のあがる事業であること、としました。

その選考の結果、以下の三件に助成を行うことに決定し、去る五月三日に開催された総会で、贈呈式と事業報告会を行いました。

また、このプロジェクトは本年（一九九九年度）も行う予定です。一九九八年度

シーズプロジェクト助成結果
（助成総額一三件一三二八、七〇〇円）
一、「DHネットワーク」

代表・柴田享子（愛知県名古屋市区中小田井2-227-4E）

国際協力に関心のある歯科衛生士のためのワークショップ。シンポジウムを日本国内で開催。一九九八年五月、一九九九年一月 事業総額三三九、四〇〇円 JAI COH助成決定金額 一六九、七〇〇円
二、日本人学校歯科衛生指導

代表・田中健一（埼玉県山柏原二七八三）

台湾における台北日本人学校での歯科保健教育（一九九八年十一月二十三日～二十五日） 事業総額三七五、〇〇〇円 JAI COH助成決定金額七五、〇〇〇円

三、東京歯科大学国際医療研究会代表・阿部 智（千葉県千葉市稲毛小仲台一五二一五〇四）

ミャンマースタディーツアー（準備）ミャンマーにおいて一九九八年十一月～一九九九年三月 事業総額一、八八二、〇〇〇円 JAI COH助成決定金額七四、〇〇〇円

◆シーズプロジェクト問い合わせ先
〒390-0804 松本市横田三一〇-十四 歯科保健医療国際協力協議会事務局 TEL&FAX 0263-39-1583

【筆者の自己紹介】一九五七年埼玉県生まれ。一九八三年に九州歯科大学を卒業。一九八五年に埼玉県三郷市で歯科医院を開業し現在にいたっています。JAI COHの活動には開業医の立場からお手伝いさせていただいています。海外での実際の活動経験はネパールだけです。JAI COHとは別に、一九八九年から始めたネパール歯科医療協力会（ADCN）の活動に参加しています。

JAI COH NEWS LETTER は下記の各社のご協力を得て作成されております

NSK ナカニシの
ハンドピースは、
世界中の先生方に
愛用されています。

NSK 株式会社 ナカニシ
〒322-8666 栃木県鹿沼市上日向340

株式会社 松風

SHOFU

時代のニーズに応えるビデオ！

口腔介護の実践 (全3巻)

I. 訪問歯科診療 日本歯科医師会
口から食べるための支援
口腔介護とリハビリテーション
(歯科医師向け/26分)

II. 歯科衛生士の訪問口腔ケア 日本歯科衛生士会
要介護者のQOLの向上を目指して
(歯科衛生士向け/27分)

III. 介護者の口腔ケアのポイント
美味しく楽しく食べられるために
(介護者向け/25分)

各1巻ケアの実践とそのポイントを3巻構成でわかりやすく解説
★各巻定価16,760円(税込) ★3巻セット定価42,000円(税込)

D&D 株式会社 デンタルタイムズ
〒113-0033 東京都文京区本郷1-6-9 TEL. 03-383-4-6111 FAX. 03-383-4-6125

歯科学学生による初の海外研修の報告

阿部 智

はじめに

東京歯科大学国際医療研究会では、ミャンマーへスタディーツアーを計画しました。

通常の交流や訪問だけのプログラムとは異なり、ミャンマーの歯科保健事情を実際に体験することで、歯科保健における国際協力のあり方を考える活動ができたと思います。

以下に活動の詳細を記します。

活動概要

主催 東京歯科大学国際医療研究会
後援 歯科保健医療国際協力協議会
参加者 歯科大学三校から歯科学学生七名、歯科医師二名、歯科衛生士二名、計十一名
引率 真木吉信（東京歯科大学歯科学講座）
カウンターパート Dr. Kyu Kyu Swe
Win (B.D.S, Ph.D)

活動内容 歯科検診（DMP歯数、治療必要度、CPI、口腔粘膜疾患、歯牙フッ素症、歯列、咬合の異常、アタッチメントロス、顎関節症など）
歯科保健に関するアンケート調査、見学・視察（ヤンゴン大学歯学部、

歯学部附属病院、小学校、ヤンゴン総合病院、一般病院）

表敬訪問（日本大使館、JICA、保健省）

調査（水質調査、歯科清掃用品調査、歯科材料調査）

反省点

スケジュールがハードであった。歯科検診の予習不足による遅延。実体験できたといえども、表面的な活動に終始したことは否めない。「歯科」にこだわりすぎ、ミャンマー全体を考察するまで至らなかった等の点が、改善を要する点としてあげられました。また、歯科学学生では初めての試みであった点。短い期間で効率的に多くの活動ができた点。事前の勉強会、帰国後のフォローアップを重視した点などは良い評価としてあげられました。

活動の評価

スタディーツアーを学生が主体となつて主催することは歯科学学生では今回が初めてのことです。他に先駆けて実行できたことは、高い評価に値するものと確信しています。しか

し一方で、このようなスタディーツアーは医学生の間では活発に行われています。国際的な活動分野では歯科は医科に大きく遅れをとっています。この格差を縮め、歯科学学生の国際保健活動を活性化させることが必要です。今回のスタディーツアーによってそれも可能となるのではないのでしょうか。

それというのも、このスタディーツアーの特徴、目的として、ミャンマーにおける活動も重要な位置を占めています。大学を越えて参加者を募り、国際保健に触れる機会を提供し、参加者がこの経験を外に向け発信することを期待したことにあります。この活動が歯科学生における国際保健活動に大きな前進を起すものとなるでしょう。

今後の展開

各方面への活動の報告・学会、勉強会（国際保健勉強会、国際保健学生フォーラム）での発表・論文、商業誌などへの投稿・活動の継続のための活動。

〔著者：東京歯科、現在学中〕

JAICOH NEWS LETTERは下記の各社のご協力を得て作成されております

ご寄付を頂いた方（99年2月～99年5月）

新庄文明／有限会社チギラ企画／大迫勝義／明歯会／島田光夫／海野町歯科診療所／村居正雄／宇野公男／株式会社永山／北川原健／真木吉信／いずみ園父母会／株式会社ナカニシ／ロータリークラブ2600地区／水野鼎／株式会社滝沢歯科機械店／上田小県歯科医師会有志（順不同・敬称略）

スーパーボンドは、
1982年に発売以来
基本組成を全く
変えておりません。

矯正に、補綴物の装着に
動揺歯の固定に
支台築造に、垂直破折歯の保存に
生活歯牙質切削面の保護に

信頼と実績の
多目的歯科用接着材料

スーパーボンド

サンメディカル株式会社

フリーダイヤル：0120-418-303
URL: <http://taihei.co.jp/sunmedical/>

海外邦人歯科保健指導プロジェクト 田中健一

実施報告

場所・台北日本人学校

実施対象・一年生から三年生

(二三三名)

実施内容・スライドを使用したう蝕、歯周病の説明、歯科健康診断、RDテスト、正しい歯磨きの指導。母親からの個別質問。

歯科衛生指導の結果（歯科健康診断よりの結果）

う蝕を有する割合について

1年生では65%（26人）が過去にう蝕になった経験がある。そのうち、約半分の12人は今もう蝕を有している。そして学年が二年生、三年生と上がるに従って、う蝕になる割合は高くなっていく（二年生75・5%、三年生82・9%）。乳歯は主に小学生のうち、永久歯に生え変わる。よって、永久歯のう蝕のみに焦点をあわせてみると、学年順に14・9%、42・2%、42・9%と増加する。

一人平均う蝕数について

1年生は一人平均22本の歯が生えている。この内、3・1本/人が、

過去にう蝕に罹っている（現在治療が済んでいない）歯は0・5本/人。二年生では3・2本/人（同0・4本）、三年生では4・4本/人（同0本）と学年が上になるにしたがって、う蝕の数も多くなっていく。12才児（六年生）の全国平均は3・1本/人（同0・8本）となっており学年が増えるにつれて、う蝕が増加する傾向があるのは国内と一緒である。

部位別によるう蝕の罹患率について

日本国内と同様の傾向を示している。つまり、本校でも臼歯部（奥歯）である6EDが上下左右ともう蝕に罹りやすい。また、奥歯がう蝕になる割合は学年が増すにしたがって高くなる。一年生では30・40%であるのに対し、三年生になると50・60%がう蝕になっている。

歯並びについて

現代の児童に共通して言えることであるが、昔に比較して硬いものを噛むことが少なくなったため、歯並びの悪い児童も近年増加してきている。約1/3の児童が正常な歯の配列を有していないことがわかった。

今後の展望

今回の歯科保健指導の結果からも解るように、う蝕は小学生の時期にほとんどが経験するといっても過言ではない。これに対し、日本国内でもその取り組みが徐々にできつつある。また一方では、海外の日本人学校においては言語面、習慣面、距離面などから難しいことが多い。しかし、情報化が急速に進む今、国内の我々も無関心であってはならない。今後、さらに、より良い保健指導が求められる所以である。さらに、次年度以降は食生活への指導も必要であると思われる。

JAICOH-NETにお便りください!!

このJAICOHNEWSLETTERは会員の皆さんの伝言板です。大いに活用してください。例えばEメールでのやり取りを誌上で紹介するなど、どんどんネットを上げましょう。下記アドレスにメールを!!

dr-uno@tt.rim.or.jp

JAICOHはホームページを開設しています。少しでも多くの人にJAICOHを理解していただくためにも、内容を充実させたいものです。ご意見をお寄せください。下記アドレスにアクセスしてみてください!!

www.tt.rim.or.jp/~dr-uno/jaicoh.htm



去る五月三十日（日）午後、東京お茶の水にある、東京医科歯科大学において、一九九九年総会を開催しました。

一九八九年年度の事業報告、決算、一九九九年年度の事業計画、予算を討議し、それぞれ承認されました。（詳細は別途送付）一九九八年年度のシーズプロジェクトに関しては、別掲の通り決定、発表があり、合計三二八、七〇〇円が供与されました。

引き続き行われた研修会では、シーズプロジェクトを中心にしたポスター展示などを行い、参加者の中から、活発な議論が交わされました。

本年度の活動資金として各活動に対し、左記の通り助成金をいただきました。最大限に有意義に活用したいものです。

郵政省ポランティア貯金

ミヤンマー歯科医療協力

二、〇四六、〇〇〇円

地球市民財団

カンボジア歯科保健協力

四八〇、〇〇〇円

JAICOHミャンマープロジェクト —協力者を募集しています—

JAICOH会長 村居正雄



はじめに

ミャンマー（ビルマ）は、一九世紀インドと共に英国の植民地でした。第二次世界大戦中は日本軍が占領し、インパール作戦で数万人の日本人兵士が亡くなりました。戦後一九四七年に英国から独立、社会主義の道を辿りましたが、経済政策に行き詰まり、一九八八年クーデターで現在の軍事政権が誕生しました。その後民主化運動がおこりますがスーチー女史の軟禁事件などで世界的な批判を受け、米国を中心とする諸国からの経済制裁が続いています。日本もかつては同国への最大の援助国でありましたが、米国に追随する立場をとっており、その関係でODAも機能しておらず、NGOの立場からの協力が強く求められています。

JAICOHは一九九八年から、ミャンマーに対し、歯科保健の向上の為の支援を行なっています。

JAICOHの活動理念

JAICOHはこれまで、ソロモン諸島やカンボジアなどで、人材育成、技術指導、病院施設整備、歯科器材の供与と修理メンテナンス指導、歯科保健の政策提言などを行なってきました。直接の医療行為や器材を与えるだけの協力は極力避けてきました。各々の国の状況にあった自立を支援したいと考えてきたからです。しかしこのことは日本でNGOを維持運営してゆく上で大変難しい状況になっています。

多くのボランティア願望の人々は、直接目に見える援助活動に参加したいと考えています。例えば充填や抜歯などの治療行為、歯ブラシを配ってブラッシング指導など。しかも夏休みや正月休みを利用して参加するバックツアールのようなイメージを持っている場合もあります。でもそれでは相手国の自立につながりません。参加する人の自己満足に終わらない協力をしたいとJAICOHは考え、活動してきました。

ミャンマーからの要請は、歯科疾患の実態調査と分析、国の口腔保健政策立案に関する技術的、財政的支援をして欲しいというものでした。

JAICOHの基本理念には適合しているものの、果たして国レベルの作業に対応できる人材と財源が得られるか心配でした。幸い現地には窓口（カウンターパート）として、かつてJAICOHカンボジア駐在員をしてくれた口腔外科医のチュ・チュ先生がおられます。また新潟大学予防歯科学の宮崎教授と、東京歯科大学衛生学の真木助教が協力してくださることになりました。

財政面では郵政省ボランティア貯金の配分金約一七〇万円がつかまりましたが、これではとても足りません。とりあえず第一年はスタートしました。が、実は、倍の三五〇万円ぐらいは必要で、現在のところ、派遣費用（旅費及び滞在費）は、自前や寄付金でまか

なっております。

現地で活動が始まるまで

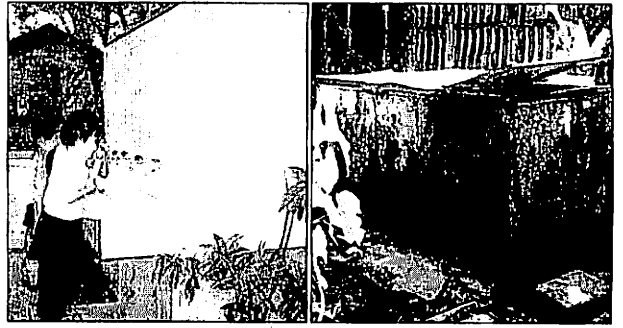
一九九八年一月真木、村居がミャンマーを訪れた。現地政府保健省、ヤングン大学歯学部教授たちと協議。日本大使館、JICA（国際協力事業団）事務所表敬訪問。ミャンマーの情報収集と相手側の意欲を打診。

七月、千木良、村居を派遣。千木良氏はユニットなど機械修理の専門家で、これまでもソロモン、カンボジアなどで活躍。大病院の歯科ユニットを点検して、問題点をリストアップ、報告書にまとめた。村居はミャンマー国内でのNGO活動許可を得るための書類作成。

十一月、真木、宮崎、村居を派遣。保健省との間でNGO協力に関する覚書に調印。これに従って、一九九九年七月にモデル地区を選定して歯科疾患調査を実施することが決まり、作業部会が発足した。長野県の地区ロータリークラブがJAICOHの活動に賛同し、ヤングン市内の三小学校にうがいなどにも活用できる水道タンクなどを寄贈した。

一九九九年三月、村居を派遣。五月に予定されているスタディツアーと歯科疾患調査の標準化の為のワークショップの段取りをつける。歯科保健教育パンフレット（ビルマ語）の印刷について協議。

五月、ゴールデンウィークに学生た



今まであった古いタンク（写真右）は衛生的には勿論、機能的にも問題が多かった。関係各位との話し合いのもと、新しいタンク（写真左）を設置。子供たちが大喜びしてくれた。

ちのステディター。十一名参加。引率は真木。大病院や地方病院、診療所の見学、村での検診、小学校でのブラッシング指導などを体験。

五月下旬ワークショップに宮崎、小川を派遣。保健省、大学、歯科医師会関係者など約三〇名が参加。

六月、村居を派遣。ミャンマー保健省との契約書作成打ち合わせ。パンフレット印刷について最終的な打ち合わせ。歯科疾患調査実施地区の視察と関係機関への表敬訪問。

今後の活動予定

一、モデル地区の歯科疾患調査実施

（財政的支援）

二、歯科疾患調査の結果の分析と医療計画の立案
（技術指導）

三、二に基づく巡回診療、保健指導システムの確立
（財政的支援）

四、保健教育パンフレットの印刷と配付
（財政的支援）

五、小学校に水道タンクを敷設
（一基五万円）

六、日本からのステディターの実施
（相互交流）

以上の活動を、現地関係者を育て、自立させる方向で実施してゆく。

参加・協力の方法

一、現地で活動に参加する。

二、プロジェクトの国内委員会に参加する。

三、財政的支援をする。
（一口五千円で受け付けています）

◇JAICOHは多くの方のご参加をお待ちしています。ご質問、お問合せは左記までお寄せください。

村居正雄 海野町歯科診療所
〒386-0012
長野県上田市中央2-9-15
電話：0268-27-4340
FAX：0268-26-1720
Eメール：murai@avis.ne.jp

歯科保健医療国際協力協議会
〒390-0804
長野県松本市横田3-10-14
電話・FAX：0263-39-1583
郵便振替：00520-4-23396

あなたの本を全国書店で販売！ 自費出版革命で15年

出版から販売までのプロセス

- 原稿整理…著者の原稿を読みやすく朱入れをします。
- 校正…初校から校了まで、3人の目を通します。
- タイトル決定…著者のつけたタイトルで可か、検討した上でよりよいタイトルを決定します。
- カバーデザイン…商品となり得る本として、プロがデザインします。
- オビ文の決定…本のオビは読者へのPRとして大切です。
- 書店流通…取次店を通して全国書店へ委託配本します。（本格的流通）
- 本の売上金…弊社規定に基づき、著者へ還元します。

お問い合わせ、ご相談はお気軽に下記へ

株式会社 エムビーシー21

〒102-0017 東京都千代田区富士見2-7-15・高田ビル5F
TEL・03-3237-7170 FAX・03-3237-7174
ホームページもどうぞ <http://www.alpha-line.co.jp/mbc21/>

自費出版する前に
読む本（本体価格1456円）

